

問1 鎌倉時代の将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？

1. 主従関係 2. 封建制度 3. 公地公民 4. 中央集権

問2 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？

1. 道元 2. 親鸞 3. 一遍 4. 日蓮

問3 承久の乱の後、朝廷の監視と西日本の武士を統制するために京都に置かれた機関を何という？

1. 評定衆 2. 京都守護 3. 鎮西探題 4. 六波羅探題

問4 鎌倉時代に書かれた文学作品『方丈記』の著者は誰？

1. 藤原定家 2. 吉田兼好 3. 鴨長明 4. 世阿弥

問5 13世紀初めに建国され、中央アジアまでを征服して大帝国を築いた人物は誰？

1. フビライ・ハン 2. バトゥ 3. フラグ 4. チンギス・ハン

問6 鎌倉幕府において、御家人の統制や軍事・警察を担う「侍所」を設置した初代将軍は誰？

1. 北条義時 2. 北条時政 3. 源頼朝 4. 足利尊氏

問7 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？

1. 親鸞 2. 道元 3. 重源 4. 明庵栄西

問8 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？

1. 五街道 2. 三大随筆 3. 三都 4. 五畿七道

問9 鎌倉幕府において、将軍が御家人に領地などを与えることを何という？

1. 軍役 2. 土地の安堵 3. 御恩 4. 奉公

問10 13世紀にモンゴル帝国を築き、後に日本へ侵攻を企てた人物は誰？

1. チンギス・ハン 2. モンケ 3. オゴデイ 4. フビライ

問11 鎌倉時代において、御恩と奉公を通じた将軍と御家人の結びつきによって成立した政治権力を何という？

1. 室町幕府 2. 江戸幕府 3. 明治政府 4. 鎌倉幕府

問12 平氏が滅亡し、武士が政治の実権を握るきっかけとなった出来事が起きたのは西暦何年？

1. 1189年 2. 1192年 3. 1180年 4. 1185年

問13 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？

1. 親鸞 2. 日蓮 3. 一遍 4. 法然

問14 鎌倉時代に琵琶を弾きながら、平氏の栄枯盛衰を語り歩いた軍記物語を何という？

1. 平家物語 2. 古今和歌集 3. 徒然草 4. 方丈記

問15 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた経典の名前は何か？

1. 観無量寿経 2. 阿弥陀経 3. 般若心経 4. 法華経

問16 モンゴル帝国が中央アジアを征服し、世界規模で勢力を広げたのは何世紀？

1. 12世紀 2. 14世紀 3. 15世紀 4. 13世紀

答え合わせ・解説

問1	答え 1 主従関係	主従関係とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。この契約的な関係により、将軍は御家人を束ね、軍事力を維持しました。土地を媒介として「御恩と奉公」を繰り返すことで、幕府は全国の武士を支配下に置くことができました。
問2	答え 3 一遍	一遍は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。彼が始めた宗派は時宗と呼ばれ、身分に関係なく多くの民衆から支持を集めました。
問3	答え 4 六波羅探題	幕府は京都に「六波羅探題」を設置しました。これは朝廷や西国の武士を監視し、京都周辺の治安維持や裁判を行うための重要な出先機関でした。
問4	答え 3 鴨長明	鴨長明は、貴族社会から離れて隠遁生活を送った人物です。京都郊外の日野山に小さな草庵を結び、そこで体験した世の中の厳しい出来事や仏教的な無常観を書き残しました。これが文学作品として高い評価を受けている『方丈記』です。
問5	答え 4 チンギス・ハン	1206年にモンゴルの首長たちによってハン（指導者）に選ばれたチンギス・ハンは、騎馬軍団を率いて中央アジアへ進出しました。高度な戦術と迅速な移動力を駆使して広大な領土を征服し、モンゴル帝国の礎を築きました。
問6	答え 3 源頼朝	1185年に鎌倉幕府の主要な機関として「侍所」を設置しました。侍所は御家人の統制や軍事・警察を担当する組織で、初代の長官（別当）には和田義盛が任命されました。これにより、全国の御家人が将軍の指揮下に入る体制が整いました。
問7	答え 3 重源	重源は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。その際、中国（宋）の新しい技術である「大仏様（天竺様）」を導入し、太い木材を組み合わせて強度を高める力強い建築を行いました。この様式は、当時の武士の気風や鎌倉時代のたくましい文化を象徴するものとなりました。
問8	答え 2 三大随筆	『枕草子』（清少納言）、『方丈記』（鴨長明）、『徒然草』（吉田兼好）の3つを総称して「三大随筆」と呼びます。それぞれ平安時代中期、鎌倉時代初期、鎌倉時代末期に執筆されました。
問9	答え 3 御恩	「御恩」とは、幕府が御家人に対して本領安堵（先祖代々の領地の支配を認めること）や、新恩給与（新しく獲得した土地を与えること）を行うことです。御家人はこれに対する見返りとして、戦いの際に軍役を果たしたり、番役を務めたりしました。
問10	答え 4 フビライ	第5代皇帝フビライ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。彼は日本に対しても外交使節を派遣して服属を求めましたが、幕府がこれを拒否したため、1274年の文永の役と1281年の弘安の役という2度の遠征軍を日本に送りました。
問11	答え 4 鎌倉幕府	鎌倉幕府の政治は、将軍が御家人に対し領地を保証し、御家人がそれに応じて軍事的奉公をするという「御恩と奉公」を骨子としています。土地が何よりも重要視された時代であり、この仕組みが全国的な支配体制を支える根幹でした。御成敗式目などの法整備も行われ、武士社会の秩序が保たれました。
問12	答え 4 1185年	1185年は、壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡した年です。この年、源頼朝は朝廷から守護・地頭の設置権を認めさせ、全国的な支配力を強めました。これにより、貴族中心の政治から、武士が政治の主導権を握る中世社会への移行が決定づけられました。
問13	答え 3 一遍	一遍は、踊りながら念仏を唱える「踊り念仏」を行い、全国を旅して信仰を広めました。この教えは時宗と呼ばれ、形式にこだわらず、念仏を唱えることで誰でも極楽浄土へ行けると説きました。一遍が全国各地で念仏札を配ったことも、民衆の間で信仰が広まった大きな要因となりました。
問14	答え 1 平家物語	平家物語は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華とその滅亡を描いた文学作品です。「祇園精舎の鐘の声…」という有名な書き出しで始まり、武士の戦いぶりや人生のはかなさが強調されています。文字が読めない人も多かった当時、琵琶法師が日本全国を回り、琵琶の伴奏とともに節をつけて語ることで広く普及しました。
問15	答え 4 法華経	日蓮は、数ある経典の中で『法華経』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。この経典を信じ、「南無妙法蓮華経」という題目（唱える言葉）を唱えることが、人々の救いにつながると説いたのです。
問16	答え 4 13世紀	1206年のモンゴル帝国建国から、13世紀を通じてモンゴル軍は東西に遠征を行いました。この時代は日本でいう鎌倉時代の中期にあたり、幕府にとっては東アジアの情勢が大きく変化した激動の時期でした。